

2025年8月 ステラファーマ株式会社(証券コード:4888)

COPYRIGHT © STELLA PHARMA CORPORATION. ALL RIGHTS RESERVED.



目次

- 1.2026年3月期1Q 概要·進捗
- 2.2026年3月期1Q 実績
- 3.2026年3月期 業績予測



STELLA PHARMA

1. 2026年3月期 **1Q** 概要·進捗

1 経営成績	国内売上は計画どおり 売上高、利益とも計画を達成
2パイプライン	血管 肉腫 国内第 II 相臨床試験における主要評価項目達成 国立がん研究センターに設置のCICS社の中性子照射装置と当社のホウ素薬剤を用いたBNCTの奏効率を評価しています。 本試験結果の詳細は、ESMO『欧州臨床腫瘍学会2025』において発表予定 『血管肉腫』・『再発高悪性度髄膜腫』ともに、予定通り今年度中に第 II 相試験までの結果をもって、当社薬剤の効能効果追加に関する一変申請の実施を目指します。
3 研究開発	難治性の悪性腫瘍を治療することを目的としたBNCTの実現に向け、液体のりの成分として使用されるポリビニルアルコールを用いた製剤について新たな成果を発表 今後、本研究成果を基に、より詳細な安全性評価と非臨床試験を進め、将来的には悪性胸膜中皮腫をはじめとする難治性の悪性腫瘍へのBNCTの適応拡大を目指します。
	再発性および切除不能な消化管間質腫瘍に対するBNCTの治療可能性を検討する論文発表 消化管間質腫瘍マウスモデルでは、投与3時間後に薬剤の高い集積が観察され、BNCT後に腫瘍の増殖が有意に抑制されました。 さらに、がん細胞にて細胞死やDNA損傷に関する変化が多く認められたことから、BNCTが消化管間質腫瘍に対して有効である可能性が 示されました。
4 機器同等性	同等性ガイドラインは最終調整の上、当初の予定通り今年度中には発出される予定 7月に開催された日本中性子捕捉療法学会学術大会にて同等性ガイドラインに関するシンポジウムも行われ、その策定については順調に 進んでいるとの報告がありました。
5 海外関連	中国海南島ボアオにてYBNCT(※)が10月に開催。当社もPlatinum sponsorとして参加予定 同学会にてBNCTの治療病院(Pengbo(Hainan)BNCT Hospital)の見学会も予定されております。 ※ YBNCT/Young Researchers 'BNCT Meeting (隔年で開催されるBNCT国際学会で第12回目)

2.2026年3月期 1Q実績 業績ハイライト



売上高

前年差

92百万円 +30百万円

(150%)

営業利益

△151_{百万円} +15百万円

経常利益

△155_{百万円} + 5百万円

四半期純利益

△156百万円 + 5百万円

国内売上は、計画通りで推移し、前年比 150%の増収でスタート

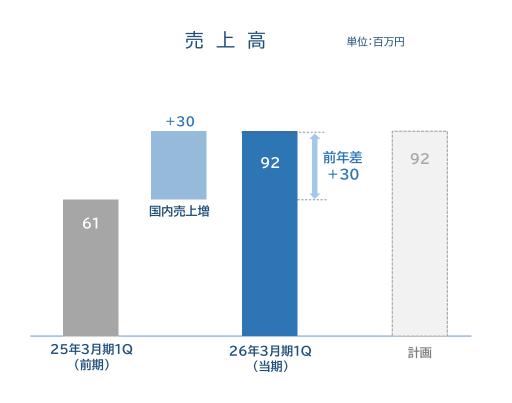
認知度向上のための関西万博への共催費用 などの宣伝費の増加があるが、増販益により 前年差では+15百万円の増益

営業外では、支払手数料・支払利息などの営業 外費用の計上により、前年差では+5百万円の 増益





売上・利益とも計画を達成し、利益は小幅に改善







3.2026年3月期 業績予測(年間)

2025年5月9日に開示した年間見通しから変更はございません

売上高は国内の症例数の増加により前年比104.8%の増収 営業利益は海外展開の研究費・人員増などの先行投資により2.6億円減益



注意事項



- 本資料における計画や予想、戦略に関する記載については、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく仮定によるものであり、当該仮定は将来の業績を保証するものではなく、実際の業績は今後様々な要因によって本資料の記載と著しく異なる場合があります。
- 本資料に含まれる当社以外に関する情報は、一般に公知とされる情報に拠っており、それら情報の正確性や適切性等について当社は保証するものではありません。
- 本資料に記載された内容は、事前の通知なくして変更されることがありますので、あらかじめご承知おきください。また掲載された情報の誤り等によって生じた損害等に関しましては、当社は一切の責任を負うものではありません。
- 本資料は、当社事業へのご理解をいただくために作成したものであり、医薬品及び医療機器に関する宣伝広告、医学的アドバイスを目的とはしておりません。
- 本資料は、いかなる有価証券の取得の申込みの勧誘、売付けの申込又は買付けの申込みの勧誘を構成するものではなく、いかなる契約、義務の根拠となり得るものでもありません。